

私立大学研究ブランディング事業

平成31年度の進捗状況

学校法人番号	041002	学校法人名	東北学院		
大学名	東北学院大学				
事業名	東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業				
申請タイプ	タイプA	支援期間	4年	収容定員	10,074人
参画組織	ヨーロッパ文化総合研究所、キリスト教文化研究所、東北学院史資料センター、東北文化研究所				
事業概要	震災という未曾有の物質文化の破壊を経験した東北において、本学内にあるキリスト教中世的文化財を軸に、時代と地域による人間中心の人文学(人間学)研究に併せて、中世にさかのぼる神中心の神学に基礎を置く総合的な神学と人文学の研究拠点を確立する。受肉を根拠に物質文化を肯定する神学を土台として、キリスト教によって地域を人的知的に支える大学という本学が目指している大学像を可視化し、更に強固なものとする。				
①事業目的	<p>本学に関連する文化財を神学・人文学の見地から研究することによって、キリスト教物質文化の基礎が神学にあることを確認し、「東北における神学・人文学の研究拠点」を整備構築することが、本事業の目的である。</p> <p>本研究は本学の文化財の調査研究をきっかけに、神学を人文学の基礎として位置付け、物質文化を再考するとともに、東北の地域性を、ポスト・モダンの価値をもつ文化資源と考える。すなわち神学と人文学の総合的観点から物質文化を支える拠点を本学に整備し、キリスト教が成立したヨーロッパ中世の復興である礼拝堂とステンドグラスを公開することで中世キリスト教において成立した物質文化の根拠を確認する。それは同時に東北仙台の地域性を文化資源として開発することに寄与する。</p>				
②31年度の実施目標及び実施計画	<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本事業の成果等について、本学ホームページへの掲載、公開講演会の開催及び書籍の出版等により公表しまた普及に努める。 ② 「キリスト教の物質文化」、「帝国と地域主義」、「東北の地域性とキリスト教」など、研究推進部門それぞれの研究テーマに関連する研究を推進する。 ③ 東北学院に関連する歴史的資料の収集保存を行う。 ④ 大学礼拝を市民に公開し、その中で音楽の役割を充実する。 <p>【実施計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本事業の研究テーマに基づいた公開講演会、シンポジウムの開催や研究成果をまとめた書籍の刊行などを通じて本事業の成果を発信する。また、水曜通信の発行などを通じて、本事業の活動についての広報活動を行う。 ② 海外調査の実施、講演会及びシンポジウムの開催、礼拝堂を含む本学の建造物の調査研究などを行う。 ③ ランカスター神学校に保存されている東北学院関係資料の調査を引き続き行う。また、本院史資料センター所蔵の1926年ごろに撮影された映像フィルムの4K化を完了させ、歴史的資料として保存する。 ④ 水曜礼拝を毎月第3水曜日に開催し、礼拝後の音楽による賛美を充実する。 				
③31年度の事業成果	<ol style="list-style-type: none"> ① 本事業の研究成果を公表しまたは普及するため、公開講演会やシンポジウム等を13回開催し、延べ663名が参加した。 ② これまでの研究成果を「苦難と救済 闇の後に光あり」を教文館より出版した(2020年2月)。その他にも、著書、論文、口頭発表などにより、研究成果を公表することができた。 ③ ランカスター神学校での調査を、今年度は宮城学院女子大学と合同で行い、アルバムやスライド、動画フィルムとして保存されている映像資料を中心に調査を行った。東北学院に関連する資料として、100年以上前のカラーの「ガラス・スライド」や、1936年の創立50周年記念式典を撮影したと思われる16ミリフィルムなど貴重な資料を発見することができた。調査の成果については、報告会を開催し広く一般にも公表した。 ④ 本院史資料センター所蔵の1926年ごろに撮影された映像フィルムのうち残りの5巻を修復し、9巻全ての4K化を完了した。 ⑤ ラーハウザー記念東北学院礼拝堂の調査では、建築史学・建築材料学・建築構造学の立場から、礼拝堂を中心とするキャンパス空間の調査研究を進め、山形大学の協力のもと振動特性評価を行い、さらには秋田県立大学の協力による外壁材の劣化調査、本学工学部による実測調査などを行った。 ⑥ 毎月一回開催(8月と3月を除く第三水曜日に開催)した「水曜礼拝」には、市民を中心として延べ627名の参加があり、大きな反響を得ている。 				

<p>④ 31年度の自己点検・評価及び外部評価の結果</p>	<p>(自己点検・評価) 平成31年度の事業は、順調に進めることができた。特に、ランカスター神学校に所蔵されている資料の調査においては、貴重な資料を新たに発見できたことは大きな成果であった。また、記念礼拝堂の調査においては、山形大学、秋田県立大学から協力を得て調査を行えたこと、本学学生が参画した実測調査など、これまでにない体制で調査できたことも大きな成果である。 さらには、昨年度までと同様に、公開講演会や研究会、シンポジウム等の開催にあつては、学内のみならず学外からの参加者も多く、地域の中で本学が果たすべき役割を再認識できたのは大きな成果といえる。 また、これまでの研究成果をまとめた「苦難と救済 闇の後に光あれ」を刊行し、学内外に広く発信できたことも大きな成果である。</p> <p>(外部評価) 2018年度に引き続き、2019年度の事業計画には、年次を追うごとに階段を一段一段上がるように、着実な成果が上がっていく様子がうかがわれ、各部門ともに積極的な研究、教育、および啓蒙活動を展開した点は高く評価できる。 特にランカスター神学校におけるキリスト教関連の文献調査と東北学院大学が世界に誇るステンドグラスに関する研究とは、斯界においても注目されており、今後の展開から目を離せない。 さらには、ランカスター神学校とのことも含め、学内外の機関・研究者との研究交流が、着実に継続・発展していること、また工学のような、神学・人文学以外の学問領域とも交流がおこなわれ、成果を生み出しつつあることも、おおいに評価に値することである。 またアカデミックな研究だけではなく、「水曜礼拝」を通じて広く一般に働きかけていく姿勢は、理論と実践にもたええられるもので、各種シンポジウム・研究会・講演会なども含めてこの事業で当初から活発におこなわれてきた活動であり、今年度も継続して精力的におこなわれていることは、高く評価できる。そして、水曜礼拝の参加者の増加は、この事業の地域への貢献が人々に高く評価されていることのあらわれと解釈することができる。 他方で、これはかつても指摘したところであるが、各部門の連携という点からみると、やや物足りなさを感じる。本事業は次年度も学内予算にて継続されるとのことなので、宗教と歴史、そして地域との有機的な関連を問う集大成的な試みがなされることを期待したい。 全体として、これまでの成果をまとめた「苦難と救済 闇の後に光あり」が出版されるなど、各部門は固有な研究成果をあげつつ、東北学院のキリスト教的視点を共有して、よきブランディング事業を実現したと評価できる。</p>																							
<p>⑤ 31年度の補助金の使用状況</p>	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">【平成31年度事業経費】</td> <td style="text-align: right;"><u>○ 合 計</u> 13,920千円</td> </tr> <tr> <td>・消耗品費</td> <td>761千円</td> <td>・旅費(国内)</td> <td>908千円</td> </tr> <tr> <td>・図書費</td> <td>1,114千円</td> <td>・旅費(国外)</td> <td>1,935千円</td> </tr> <tr> <td>・委託費</td> <td>2,410千円</td> <td>・人件費・謝金</td> <td>4,458千円</td> </tr> <tr> <td>・通信運搬費</td> <td>77千円</td> <td>・その他</td> <td>96千円</td> </tr> <tr> <td>・印刷製本費</td> <td>2,161千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事業経費の管理体制】 ・事業経費の使用に当たっては、本学の本事業推進に係る全体計画を策定する事業計画委員会において、事業計画に沿った適正な用途を確認している。</p>	【平成31年度事業経費】		<u>○ 合 計</u> 13,920千円	・消耗品費	761千円	・旅費(国内)	908千円	・図書費	1,114千円	・旅費(国外)	1,935千円	・委託費	2,410千円	・人件費・謝金	4,458千円	・通信運搬費	77千円	・その他	96千円	・印刷製本費	2,161千円		
【平成31年度事業経費】		<u>○ 合 計</u> 13,920千円																						
・消耗品費	761千円	・旅費(国内)	908千円																					
・図書費	1,114千円	・旅費(国外)	1,935千円																					
・委託費	2,410千円	・人件費・謝金	4,458千円																					
・通信運搬費	77千円	・その他	96千円																					
・印刷製本費	2,161千円																							